

産業用ロボットによる機械加工の 研究動向

加藤 大暉

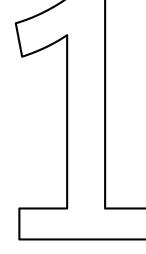
製造サイバーフィジカルシステム研究チーム

2025年11月26日 産総研シーズウェビナー 〜次世代ものづくり実装研究センター特集〜

目次

- 1. 産業用ロボットによる機械加工(ハード)
 - 1.1 ロボット加工の背景
 - 1.2 ロボット加工の課題
 - 1.3 特異点とは
 - 1.4 特異点加工による高剛性な加工
- 2. ROSによるロボットティーチング(ソフト)



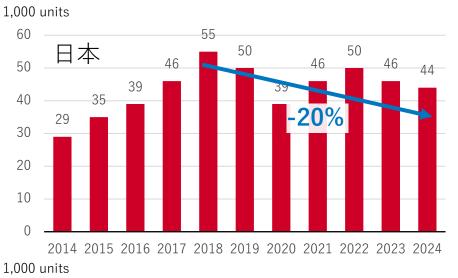


産業用ロボットによる機械加工 一ハードー

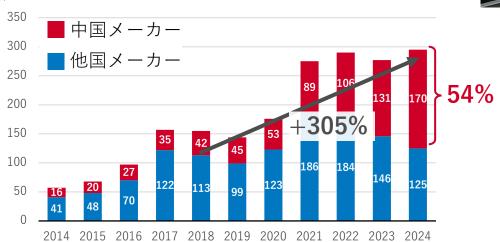
ロボット加工の背景



■ 産業用ロボット新規導入状況 (協働ロボット含む)







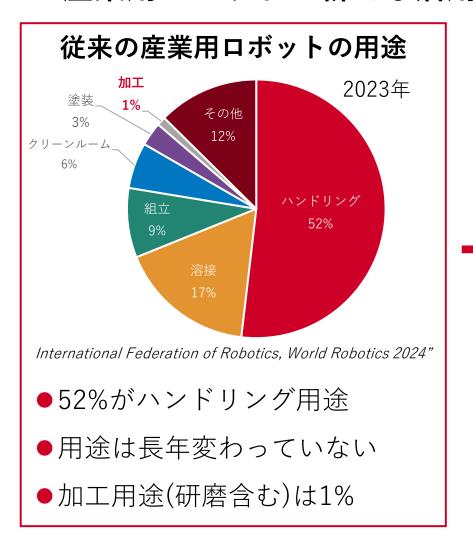
- ●日本の産業用ロボットの新規 導入台数は頭打ち
- ●中国メーカーのシェアが拡大
- ●中国国内の新規導入台数も増加

International Federation of Robotics, "World Robotics 2025"

ロボット加工の背景



■ 産業用ロボットの新たな活用先



新たな活用先:ロボット加工



産業用ロボットで切削加工

→ロボット加工

- 産業用ロボットの手先に スピンドルモーター
- ●エンドミルによる金属切削加工

ロボット加工の利点









3軸マシニングセンタ



5軸マシニングセンタ



6軸産業用ロボット

スペース 大・コスト 大

スペース小・コスト小

汎用性小

汎用性 大

剛性大

剛性小

ロボット加工の課題



■ ロボットの剛性が低い

各関節のギアや 減速機がたわむ

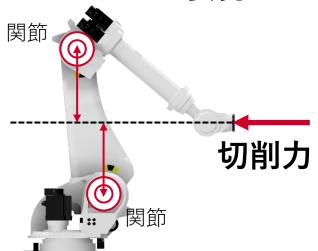


手先位置がずれる





■ ロボットの姿勢によって剛性が変わる



姿勢によって切削力の作用線と関節の 距離が変わる _

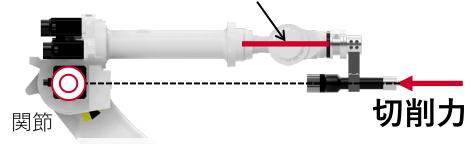
姿勢によって切削力が各関節に加える モーメントが変わる

特異点加工の概要



■ 剛性が高くなる姿勢とは?→特異点

手首を伸ばした姿勢→**特異点**



切削力の作用線上に関節 →モーメントが0になる



◆特異点では手首を伸ばした方向に**剛性が高くなる**

問題点

特異点は数学的な理由から避けられてきた



特異点通過時に関節が急回転する

特異点加工の概要



■ 大型ワークの加工には横型ロボット加工が必要



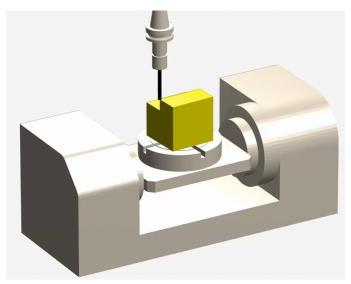
横型ロボット加工は特異点に近くなる

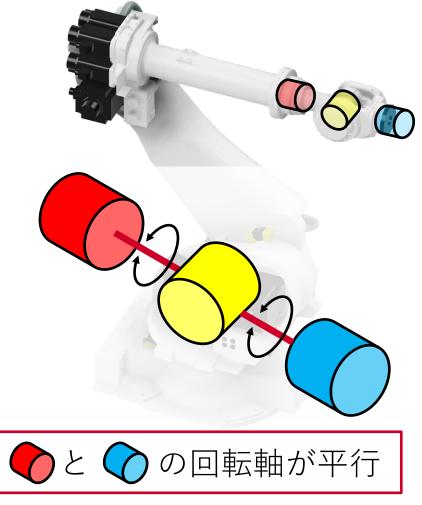
→特異点問題を解決する必要がある



■ 解が数学的に一意に定まらない特別な姿勢

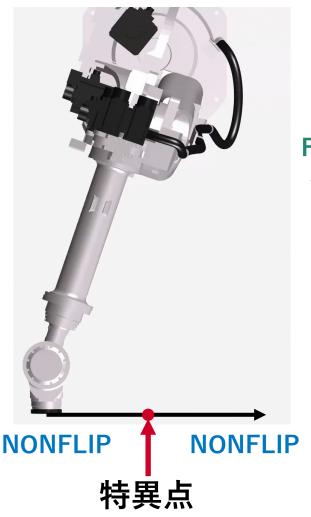


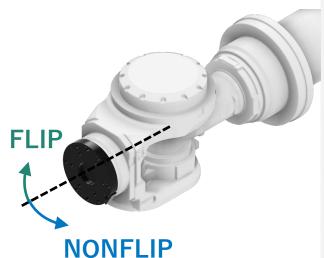






■ 特異点で解の形態(NONFLIP or FLIP)を変更





ティーチングの工夫で 特異点通過時の関節の 急回転を抑制

加藤大暉, 内野友裕, 関岡将天, 廣垣俊樹, 中川正夫, 「**産業用ロボットによる切削** 加工のための逆運動学の解の種類の変更 による特異点通過法」, 精密工学会誌, 2025年10月

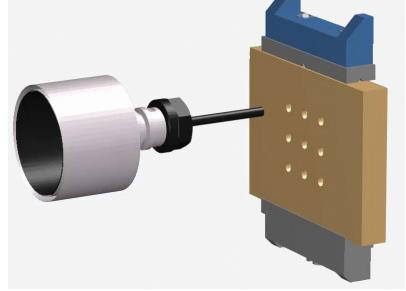


ロボット加工のティーチング



■ MATLABでロボットプログラム作成





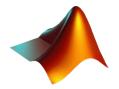
▼ロボット言語を出力

REM "singularity drilling"

MOVEX A=1P, AC=0, SM=0, M1J, P,(1.824776, 134.275402, -42.642740, 131.806128, 2.448365, -131.832131),R=10,H=1,MS

MOVEX A=1P, AC=0, SM=0, M1J, L,(1.715536, 132.031267, -41.977310, 91.800938, 1.716384, -91.801746),S=8.300000,H=1 DELAY 1.0

MOVEX A=1P, AC=0, SM=0, M1J, L,(1.824776, 134.275402, -42.642740, 131.806128, 2.448365, -131.832131),S=16.600000,H=1,MS



Robotics System Toolbox

https://jp.mathworks.com/products/robotics.
html

MATLAB®



■ 特異点通過アルゴリズムによる急回転の抑制

アルゴリズム適用前

アルゴリズム適用後





特異点で高剛性な加工を実現



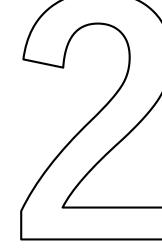
ロボット加工の課題は<u>ロボットの剛性が低い</u>ことであり、 <u>剛性は姿勢によって大きく変わる</u>。

特異点では特定の方向の剛性が高くなる。

しかし、特異点は数学的に解が不定となる特別な姿勢で <u>避けられてきた</u>。

そこで、特異点通過アルゴリズムを適用して、特異点で加工することで剛性を上げて、<u>加工精度を向上させた</u>。





ROSによるロボットティーチング 一ソフトー

目次

1. 産業用ロボットによる機械加工(ハード)

- 2. ROSによるロボットティーチング(ソフト)
 - 2.1 ロボットティーチングの背景
 - 2.2 ロボットティーチングの課題
 - 2.3 ROSとは
 - 2.4 ROSによる制御と通信の共通化とその効果

ロボットティーチングの背景



■ 産業用ロボットのティーチング方式

ティーチングプレイバック



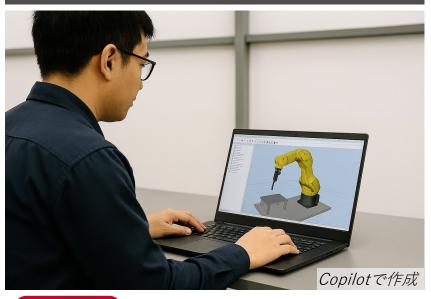
メリット

- ●直感的なティーチング
- ●高い繰り返し精度

デメリット

- ●生産ラインを止める必要がある
- ●柔軟性が低い

オフラインティーチング



メリット

- ●生産ラインを止めずに作業可能
- ●効率的なプログラム作成

デメリット

- ●周辺環境の実装が困難
- ●現場での微調整が必要

オフラインティーチングの課題



■ 周辺環境をバーチャルに再現することが難しい



- 様々なメーカーのロボット
- ●工作機械やAGVなどの周辺機器



同一のシミュレータ上に再現 干渉を検知してロボット動作を生成

現在のロボットシミュレータ











すべてCopilotで作成

シミュレータがメーカごとに独立

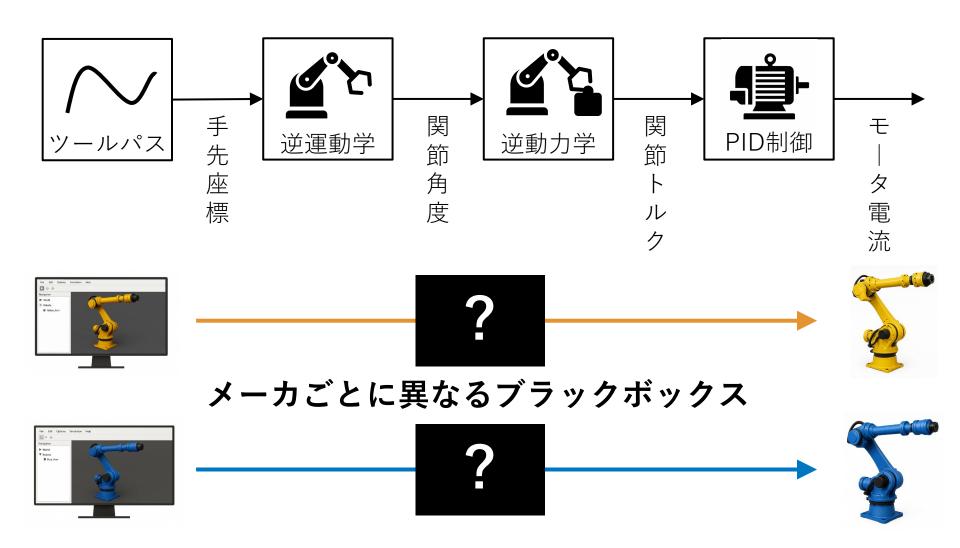
別メーカーのモデルは動かない

例:工作機械のドアは開かない

オフラインティーチングの課題



■ 制御方式や通信方式がメーカー独自でブラックボックス





Robot Operating System (ROS)

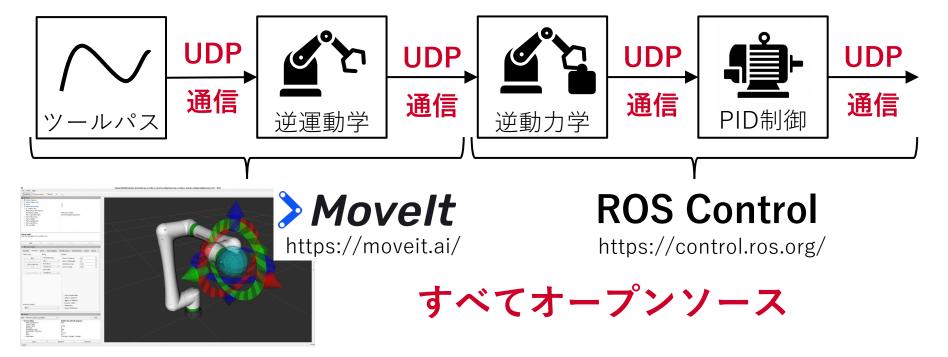
Researchers should not start by reinventing the wheel.

一研究者は車輪の再発明から始めるべきではない



ロボットのオープンソースミドルウェア

制御と通信をオープンソースで共通化

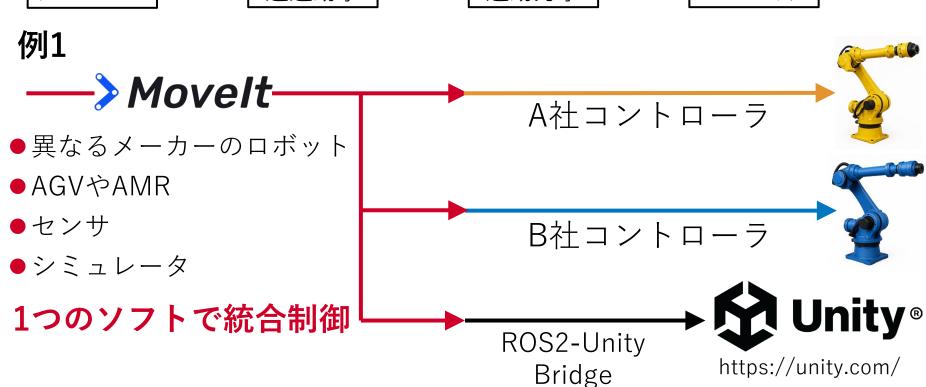


ROSの利点1 ―制御方式の共通化-



■ 異なるメーカーで制御方式を共通化して統合制御

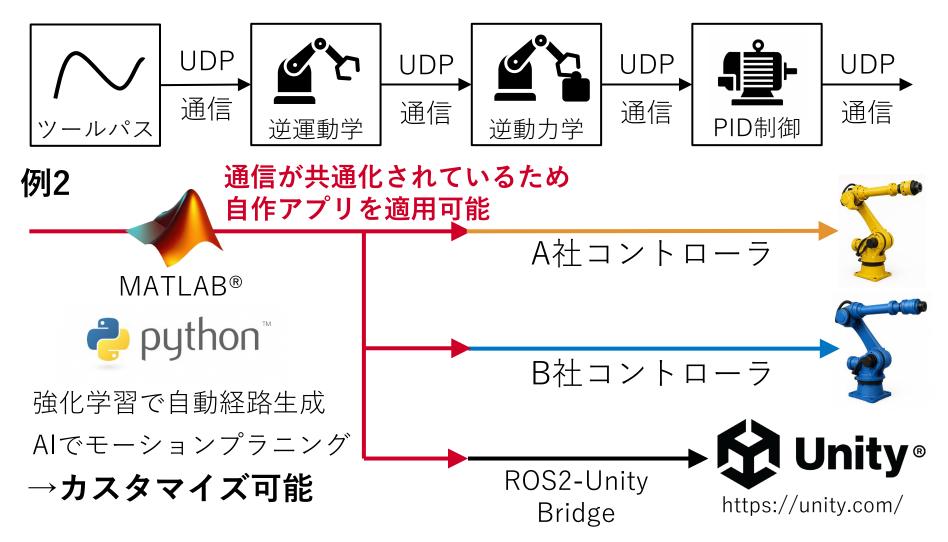




ROSの利点2 —通信方式の共通化—



■ 通信が共通化されているためカスタマイズが自由



22

ROSの活用先



■ ROSによるロボットのオフラインティーチング

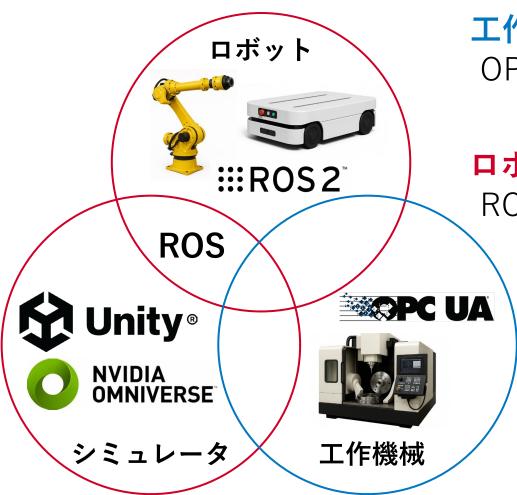


- ●同一のシミュレータ上にロボット・工作機械・AGVを再現する
- 物理シミュレーションから最適な ロボットの動作を学習する →AIモーションプラニング

- 1. ロボットの実機と通信して ロボット姿勢をシミュレー タ上にリアルタイム再現
- **2. 工作機械の実機と通信**して ドアの状態とテーブル位置 をシミュレータ上に再現
- 3. 現実空間とリアルタイムに リンクしたシミュレータに よるロボットティーチング
- 4. Alモーションプラニング

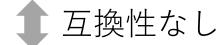


ROSによるロボットと工作機械の統合制御



工作機械の通信規格

OPC-UA、MT-Connectなど



ロボットの通信規格

ROS



ROSとOPC-UAのBridge

ROSを基盤とした ロボット・工作機械・ シミュレータの連携

https://www.nvidia.com/ja-jp/omniverse/

https://jp.opcfoundation.org/about/opc-technologies/opc-ua/



ロボットのオフラインティーチングの実現のためには、 <u>同一のシミュレーション空間</u>に異なるメーカーのロボット・ 工作機械・AGVなどを再現する必要がある。

しかし、<u>各メーカーで制御方式や通信方式が異なる</u>ため、 同一シミュレータ上で動かすことは難しい。

そこで、ROSによって制御方式と通信方式を共通化し、 現実空間とリアルタイムにリンクしたシミュレータと、 それを用いたAIティーチングを実現する。



ご清聴ありがとうございました。